

老人福祉センターで雨漏り改修

渡辺久長議員 新年度に入って、まだ2ヶ月しかたっていないのに、1,700万円もの予算が追加計上されました。議会も議員定数を2人削減して経費節減に努めているときに、所管の委員会でも審議もせずに、多額の改修費を計上するのは問題ではないですか。



改修工事が行われる老人福祉センター

山田町長 今年2月に、社会福祉協議会から雨漏りがして外壁の亀裂が非常に激しいという話をいただきましたが、当初予算に間に合いませんでした。今後は早めに相談しながら進めて行きますのでご理解ください。

特別養護老人ホームの設計はどうなった

鈴木正範議員 町長は、3月議会のときに広野町独自の特別養護老人ホームの建設について、19年度に実施設計の予算をとり、20年度、21年度にかけて建築したいという固い決意を述べたにもかかわらず、今回も実施設計の予算が計上されていません。どうなりましたか。

山田町長 先刻檜葉町との協議もあり、今後詳細な打合せに入ろうとしています。できるだけ約束どおりにできるように考えて行きます。

後期高齢者医療

システム開発委託料を追加

6月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに4特別会計補正予算は、一般会計は主に老人福祉センター改修事業費および後期高齢者医療（※）システム開発委託料ほかの計上で、特別会計も主に国民健康保険の後期高齢者医療システム開発のための一般会計繰入金などの計上でした。

6月補正の結果

会計名	補正後の予算額	(補正額)
一般	38億1,120万円	(2,444万円)
国民健康保険特別	5億8,279万円	(1,231万円)
老人保健特別	6億9,647万円	(311万円)
公共下水道事業特別	2億3,872万円	(22万円)
介護保険特別	2億2,663万円	(20万円)

6月補正の主な内容

- 老人福祉センター改修事業費 1,721万円
- 後期高齢者医療費(システム開発委託料) 2,649万円

再任



芦川鋭章氏

教育委員

現教育委員で教育長を務める芦川鋭章氏（下流見川字桜田）の任期が平成19年7月14日で満了となるため、議会として再任することに同意しました。任期は、平成23年7月14日までです。

※後期高齢者医療制度

平成20年4月からはじまる75歳以上の方を対象とした新しい医療制度のことで、すべての高齢者が加入の対象となります。

海岸堤防の安全確保に努めよ

中津伸一議員 海岸は町民の憩いの場所であり、かなりの人が浅見川から北釜までの堤防を散歩しています。最近、堤防に赤い印を付けた釘が打ち付けてあり、つまずくと大変危険です。町で付けた手すりまで撤去したようですが、管理者である県と整合性をはかっているのですか。

賀沢建設課長 定例会が終わりました。だ、堤防にある測量用の釘については、安全に散歩ができるよう県に要望したいと考えています。また、手すりについては、県に要望した結果、近日中に階段および手すりを付けますという看板が出されました。

財政負担を減らす努力を

鈴木紀昭議員 来年の4月から始まる後期高齢者医療制度は、自治体に大きな負担がかかることから、財政負担の軽減をはかるために、双葉郡の町村会で国の方に陳情や働きかけをする動きはありますか。

山田町長 今のところありませんが、大きな負担を強いられることから、今後そういった動きは出てくると思います。

講演会に多くの町民の参加を

塩史子議員 健康づくりの講演会を開催するのはたいへん結構なことですが、多額の講師謝礼を無駄にすることなく、多くの町民が参加できるよう真剣に取り組んでください。
青木町民保健グループリーダー 秋口に町体育館での開催を予定しており、人員についても体育館いっぱいになりたいと考えています。

生活実態に合った資源ゴミの回収を

渡辺正俊議員 ダンボールなどの古紙回収は、現在、月2回ほど、平日に役場駐車場で行われていますが、資源の有効利用とリサイクル問題を考慮して、日曜日などにもできる体制を組むべきではありませんか。

山田町長 町自体をきれいにするひとつの手立てかと考えますが、前向きに検討して行きます。



堤防を散歩する人たち（下浅見川地区の海岸）

弱い立場の人に特別な配慮を

畑中女子議員 後期高齢者医療制度は、75歳以上の人から保険料を徴収するという国の冷酷とも言える制度だと考えますが、この人たちが保険料を滞納した場合でも、広野町として特別に配慮し、短期保険証や資格証明書を出さないようにできませんか。

青木町民保健グループリーダー 今後、国や県の指導を踏まえて事業を実施して行きますが、今のところ短期保険証や資格証明書の発行は考えていません。



役場駐車場に持ち込まれた資源ゴミ